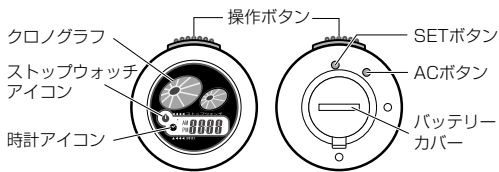
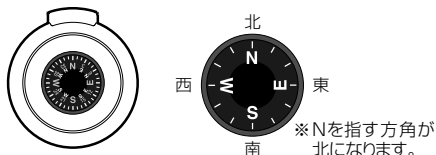


オプションパーツのサブユニット装着時のみお読みください。

## タイマーユニット (CC-BSM100-T)

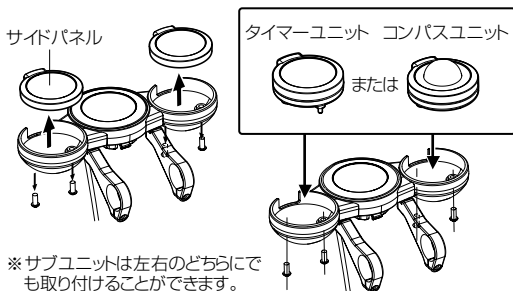


## コンパスユニット (CC-BSM100-C)



## 1. サブユニットの取り付け

メインユニットの左右にオプションのサブユニットが装着可能です。サイドパネルを外し、代わりにサブユニットを取り付けます。



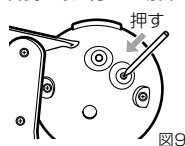
※サブユニットは左右のどちらにでも取り付けることができます。

## 2. タイマーユニットの準備

### 1 AC ボタンを押します (オールクリア)

タイマーユニット裏面のACボタンを押すとタイマーユニットの記憶が消去されます。(図9)

右側に取り付けた場合



### 2 時刻を合わせます

時刻は12時間表示 (AM/PM) で設定されます。

1. 操作ボタンで点滅する「時」が増加します。押し続けると早送りします。
2. SETボタンで点滅が「分」へ移動します。(図11)  
操作ボタンで合わせます。もう一度、SETボタンを押すと時刻が設定されます。

「時」の入力



「分」の入力



↓ 操作ボタン 数値をプラス

↓ SET 数値の確定  
SETボタン

## 3. タイマーユニットの操作

時刻表示



↓ 操作ボタン スタートストップ  
操作ボタン

ストップ時  
↓ リセット (2秒間長押し)  
↓ 時刻表示へ (4秒間長押し)

### ストップウォッチの切り替え

操作ボタンを押すと時刻表示からストップウォッチに切り替わります。(図12)

1. 操作ボタンで計測のスタート/ストップが行えます。
2. ストップ状態でもう一度、操作ボタンを押すと再スタートします。  
※ 操作ボタンの長押しでこれまでの計測がゼロに戻ります。
3. ストップ状態で操作ボタンを4秒間押し続けると時刻表示に戻ります。  
※ 時刻表示に変わるまで押し続けてください。

### 時刻合せ

時刻表示でSETボタンを押すと時刻合わせ画面になります。( 2 参照)

### 電池の交換

表示が薄くなってきたら電池の交換時期です。電池の交換はタイマーユニットをメインユニットから取り外して行います。

1. コインでバッテリーカバーを開け電池を交換します。
2. 電池交換後はオールクリア操作をして、時刻を合わせます。



## 4. 製品仕様

### タイマーユニット (CC-BSM100-T)

使用電池 ..... リチウム電池 CR2032 x1  
電池寿命 ..... 約3年 ※1  
制御方式 ..... 4-bit 1-chip マイクロコンピュータ (水晶発振器)  
標準精度 ..... ±0.003%  
使用温度範囲 ..... 0 ~ 40 °C  
寸法・重量 ..... 58 x 52 x 19 mm (裏面突起物を除く) / 34 g

※1 あらかじめ装着されている電池はモニター用ですのでこれより短くなることがあります。

※ 温度の上昇や低下で液晶部が変化して表示が見えなくなったり、動きが鈍くなることもありますが、液晶の特性で故障ではありません。温度が回復すると元に戻ります。

### コンパスユニット (CC-BSM100-C)

使用温度範囲 .. 0 ~ 40 °C  
寸法・重量 ..... 56 x 52 x 30 mm (裏面突起物を除く) / 27 g

- ※ 使用環境によってコンパスに気泡がでる場合がありますが性能に影響はありません。
- ※ 場所や地域によっては正しく方向を示さない場合があります。コンパスの角はあくまで目安としてお使いください。
- ※ 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。